



10/1から  
始まります

12月31日まで

# 赤い羽根 共同募金

皆様からのあたたかいお気持ちは、  
地域の福祉充実のため次のようなことに使われています。

## 町内の福祉のために



### 障害者福祉

- 身体障害者福祉会の育成・支援
- 障害児者親の会の育成・支援
- 視覚障害者の支援



障害児者親の会 運動教室

### 福祉の応援

- 地区社会福祉協議会活動の強化・支援
- 生活困窮者の支援
- 罹災者給付事業
- 母子寡婦福祉会の育成・支援
- ボランティア連絡協議会の育成・支援



地区社協活動 ふれあいレーム

### 高齢者福祉

- 敬老会開催
- 老人クラブ活動の支援
- シルバー大学校同窓会活動の支援



老人クラブ 輪投げ大会

## 県内民間福祉施設・ 団体のために

- 老人福祉施設、児童福祉施設、障害者福祉施設等の整備、備品・自動車の購入、団体の事業などのために使われています。



# 募金の方法



## 戸別募金

各家庭を訪問し、募金をお願いする方法

## 街頭募金

街頭に立ち募金と呼びかける方法



## 職場募金

職場で募金をお願いする方法

## 学校募金

学校、保育園、幼稚園を通じて募金をお願いする方法

## 法人募金

法人（企業）に社会貢献活動の一環として協力いただく方法

## 窓口募金

公共施設や商店等の窓口に募金箱を設置してお願いする方法。社協の窓口でもお預かりいたします。

今年度  
目標額

# 4,875,000円



イベント募金 パネル(赤い羽根と写真)キャラバン



街頭募金

皆様からの寄付金は、一度県の共同募金会に全額送金され、その後町社会福祉協議会や県内の施設等に配分されます。

## 歳末たすけあい募金にもご協力を!!

新たな年を迎えるに時期に、支援を必要とする人たちが安心して暮らすことができるよう、各種の援護事業を実施するため、共同募金運動の一環として募金活動を行うものです。

12月1日  
からは歳末  
たすけあい  
募金

# 小地域福祉活動計画の紹介

平成27年度から計画推進に取り組んでいる6地区の計画について紹介します。計画の推進に当たっては、地域の方の協力が不可欠ですので、ご協力をよろしくお願いいたします。



## 黒田原地区

目 標	事 業	本年度の目標	取 り 組 み 方 法
花と緑がたくさんある街	花がいっぱい黒田原	実施方法の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花の種等を配布することが可能かを検討する。</li> <li>・ゴミ拾い、捨てない運動を検討する。(ゴミ拾い、ゴミ袋の配布方法など)</li> </ul>
誰もが安心して暮らせる街	日常も安心黒田原	回覧板は顔見て声かけて回す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回覧板にシールを貼って活動のPRをする。</li> <li>・子供の見守りについては、次年度以降に検討・実施する。(ベストや腕章の作成など)</li> </ul>
	災害時も安心黒田原	災害に対する学習会を開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防関係者等に依頼し講習会を開催する。</li> </ul>
イベントにより交流できる街	交流できる黒田原	実施方法の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒田原地区内のイベントを把握する。</li> <li>・関係団体等と意見交換をする。</li> </ul>



## 田中地区

目 標	事 業	本年度の目標	取 り 組 み 方 法
世代間交流が盛んに出来る田中地区	みんなで集まっぺよ	開催方法の検討	定期的に会議を開催する。
高齢者がいきいきと活躍できる田中地区	うんまいもん食っぺよ	年1回の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議を開催する。</li> <li>・地域探訪ウォークラリーで、ゆてもち・豚汁を振舞う。</li> </ul>
高齢者に優しい田中地区	田中はいいぞ～	学習会を開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議を開催する。</li> <li>・福祉制度説明教室を開催する。</li> <li>・介護教室の開催を検討する。</li> </ul>



## 池田地区

目 標	事 業	本年度の目標	取 り 組 み 方 法
世代間の交流が活発な池田	子供が安心して遊べる地域を作ろう	各種イベントを利用して子供たちと交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・納涼祭等において積極的に子供たちに話しかける。</li> <li>・一緒に遊ぶ機会を設ける。</li> </ul>
	高齢者が活躍できる地域を作ろう	高齢者と児童生徒との交流事業を継続し、多くの高齢者が参加できるような努める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿会と協力して、多くの参加が得られるよう呼びかける。</li> <li>・子供たちと積極的に交流できるように内容を検討(工夫)する。</li> </ul>
ゴミが落ちていないきれいな池田	ゴミゼロ運動	ゴミゼロ運動を地区にアピール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流事業終了後、ゴミ拾いを実施する。</li> <li>・反省会において、次年度以降の方法を相談する。(ゴミ袋の配布方法、ゴミ拾い事業など)</li> </ul>
おいしい食材がある池田	地元の食材や料理の伝承	年1回の開催を目指し準備、検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度内に意見交換会を実施し、内容を検討する。</li> </ul>



## 夕狩地区

目 標	事 業	本年度の目標	取 り 組 み 方 法
地域交流の盛んな夕狩地区	地域資源を生かした地域交流	年度内1回の開催を目指す	マ・メゾン光星を会場に、高齢者と児童の交流事業を開催する。
	地域愛を深めよう	開催方法の検討	会議を開催し、交流方法について検討する。
高齢者が生き生きと暮らせる夕狩地区	高齢者の居場所づくり	地区全体を対象にふれあいルームを1回開催	会議を開催し、マ・メゾン光星(会場)の見学とふれあいルームの開催方法について検討する。 年内中に開催する。 参加者の意見、状況により次回の開催を検討する。
	老人クラブの復活	高齢者へ呼びかける	ふれあいルームや高齢者と児童の交流事業に参加した高齢者に呼びかける。



## 成沢地区

目 標	事 業	本年度の目標	取 り 組 み 方 法
地元を愛する人を増やそう	子供のふるさと愛を育てよう	子供の安全のため街頭挨拶を行う	街頭挨拶の方法を検討する。 (頻度、人数、ビブスの種類、協力者など) ビブスを購入し、街頭挨拶を実施する。
元気な高齢者を増やそう	成沢キラピカ大作戦	若者とスポーツを楽しむ	老人クラブ員を指導者として、スポーツ講習会を行う。 チラシを作成し、広く広報する。
高齢者が安心して暮らせる地区	高齢者元気アップ大作戦	高齢者と楽しく食事をを行う	食事会の方法を検討する。(対象者、内容、協力者、費用など) 食事会を実施する。



## 稲沢地区

目 標	事 業	本年度の目標	取 り 組 み 方 法
地域の行事に子供が楽しんで参加する	子供たちこの指とまれ	交流会を開催	推進委員会を開催し、交流会の内容を検討する。 (魚つかみ、竹とんぼ作りなど) 子供たちと交流会を開催する。
地域の交流を活発にする	みんな集まれ	高齢者が気軽に集まれる機会を増す	上記の交流会に高齢者も参加してもらう。 地区社協役員が他地区で行われているサロンを視察する。 年度内にふれあいルームを開催する。
安心して高齢者が住める地域にする	みんなが救援隊	高齢者の声を集める	交流会や敬老会、ふれあいルームなどの集まりがあった時に、高齢者から普段の悩み、心配等聞き内容を検討する。



# 地域包括支援センター

～認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らすために～

町では認知症を理解し、みんなで支える体制づくりが課題となっていることから、今年度は、小・中学生を対象に「認知症サポーター養成講座」を開催しています。

6月には黒田原中学校の1年生と3年生を対象に、NPO法人フロレンス那須の富永和美さんから、中学生でもできる支援の方法についての講話がありました。また、法人職員により、認知症の方への接し方の寸劇が演じられました。生徒たちからは「自分たちにできること」を考えることができ、困っている人がいたら「話をよく聞いてあげたい」「一緒にいてあげたい」等の積極的な意見発表がありました。

9月には小学生を対象に開催しており、相手の立場になって思いやり、みんなで支えあうサポートの輪が広がっています。



■問合せ 那須町地域包括支援センター

住 所 那須町大字寺子乙2566-1 ゆめプラザ・那須内 電話 0287-71-1138 FAX 0287-72-0416

## 那須町障害者地域活動支援センター りんどう作業所通信

### 外出訓練

7月14日、那須塩原方面へ行ってきました。午前中ショッピングモールで買い物をし、午後はカゴメ那須工場の視察見学をしました。工場ではトマトについて学んだり、ジュースができるまでの行程を見学しました。オートメーション化された工場内部に皆興味津々でした。



### 夏季物品販売事業へのご協力ありがとうございました

町内外約600名の皆様にご協力をいただきました。特別賞金として、利用者に支給することができました。誠にありがとうございました。



### 夕涼み会開催

8月6日、りんどう作業所において「夕涼み会」を開催しました。民生委員やボランティアの方などにも参加をいただき、所員の会長の乾杯で始まり、焼き肉、焼きそば、デザートを食べた後、参加者全員で花火を楽しみました。



■問合せ りんどう作業所

住 所 那須町大字寺子丙4-5 ゆうゆうセンター内 電話/FAX 0287-72-0362

## 大学生4名が社会福祉士の 実習を行いました

今回の実習において、那須町協と地域住民との関係性、那須町の特色と課題、相談援助のあり方などについて理解が深められたのではないかと思います。また、実習を通してたくさんの人と出会い、貴重なお話を聞かせていただき大変感謝しております。今後は、ここでの経験をあらゆる場面に活かせるよう努力して参りたいと思います。

東北福祉大学 根本朝子



那須町協の実習を通し、抽象的な協会のイメージに具体性を持たせることができました。また、多くの地域住民と接することができ興味深い話を聞くことができ、自分の課題も見つけることができました。これからの経験を活かし、地域課題を把握し、実習生一同つたない知識を振り絞り、よりよい那須町につながるよう努力いたします。

国際医療福祉大学 3年 添田結也

那須町協で実習させていただき、協会の重要性を学ぶことができました。利用者と職員とのやりとりを見て地域支援についての理解を深めることができました。また、ボランティア団体も多く、沢山の社会資源があることから、支援者が多いことがわかりました。将来、福祉職についた際に那須町協の職員のように援助ができるよう残りの期間学問に励みたいと思います。

国際医療福祉大学 渡辺隆晃

那須町社会福祉協議会では、那須町の地域について学んだり、ヘルパーさんと訪問をしたり、ケアプラン作成を行ったり、作業所の利用者と作業を通してコミュニケーションをとったり、毎日が貴重な実習です。将来、福祉の仕事に挑む時、自分の価値観や視野を広げるきっかけとなる23日間の実習になれば良いと思います。

国際医療福祉大学 安田真奈奈

## 「第21回栃木県民福祉のつどい」

平成27年8月27日、宇都宮市文化会館で行われた「第21回栃木県民福祉のつどい」において、社会福祉等の功績が認められ、次の方が表彰されました。

### 栃木県社会福祉協議会会長表彰 民生委員・児童委員

有坂紀子 高久 孝 鈴木健司  
平野幸一 藤澤 貴



## 人事異動

◎新規採用

☆地域福祉係  
主事 増尾雅博 活動専門員  
(九月一日付)

川上 未 来

## ご寄付・善意ありがとうございます

善意銀行		5月
氏 名		
連合栃木	那須地域協議会 様	
6月		
草 野 勇 三 様		
遠 藤 和 男 様		
高 福 寺 様		
7月		
草 野 勇 三 様		
遠 藤 和 男 様		
童謡を歌う会「野バラ」 様		

		8月
氏 名		
草 野 勇 三 様		
遠 藤 和 男 様		
岡本久臣 (チャリティUI) 様		
ためきの郷を守り隊 様		
ひまわりまつり実行委員会 様		
成 沢 ス ポ ツ 愛 好 会 様		
那須グラウンドゴルフ協会 様		
伊野野ふるさとゴルフまつり実行委員会 様		
混声合唱団 かでんつ 様		

## 相談コーナー

### 【障害福祉相談室】

障害福祉に関する相談に応じます。予約は必要ありませんので、相談日にお越しください。

- 開設日 9月24日、10月21日、11月20日
- 開設時間 午前9時～正午
- 開設場所 ゆめプラザ那須
- 応 対 者 障害者相談支援専門員、民生委員・児童委員
- 問 合 せ 那須町保健福祉課  
72-6917

### 【心配ごと相談】

日常生活の心配ごとや悩みことなどの相談に応じます。予約の必要ありませんので、相談日にお越しください。

- 開設日 9月24日、10月21日、11月20日
- 開設時間 午前10時～午後3時
- 開設場所 ゆめプラザ那須
- 応 対 者 民生委員・児童委員3名
- 問 合 せ 那須町社会福祉協議会  
72-5133

# ボランティアセンター

## 災害&防災ボランティア講座を開催しました。

8月19日、ゆめプラザ・那須を会場に県立那須高等学校JRC 部員7名とボランティア連絡協議会会員11名が参加し、災害時に備えた「炊き出し訓練」、「那須町の災害について（講話）」、「災害時に何ができるかについてのワークショップ」を行いました。

ワークショップでは、平成10年那須水害、平成23年東日本大震災、平成26年大雪等の災害時に活動された方々に行ったアンケート(那須水害等でどのようなことを考え、何をしたか)結果をもとに、災害発生時に自分達に何ができるか、また、日ごろからできる備えについて、グループに分れ活発に意見交換しました。

高校生からは、「自分が生まれる前に那須町に大きな水害が起こったことについて学べたことや災害時の炊き出し訓練を通して貴重な経験ができました。」との感想がありました。



■問合せ 那須町ボランティアセンター  
住 所 那須町大字寺子乙2566-1 ゆめプラザ・那須内 電話 0287-72-5133 FAX 0287-72-0416

## 社協だよりクイズ

問題

地域包括支援センターが今年度小、中学生を対象に実施している養成講座の名称は？

ヒント

答えは社協だよりの中に書いてあるよ

応募方法 官製はがき、またはメールにて、問題の答え、住所、氏名、年齢、「なす社協だより」の感想などをご記入のうえ、下記までご応募下さい。

宛先: 〒329-3215 那須町大字寺子乙2566-1 那須町社会福祉協議会 ✉ info.yume@nasu-shakyo.jp  
締切: 平成27年10月31日(必着)

正解者の中から抽選で3名の方に、1,000円分のクオカードをプレゼントさせていただきます。なお、クイズの正解と当選者につきましては、次号の社協だよりでお知らせします。

前回のこたえ 500円

前回の 浅石孝子様 今 寿和様  
当選者 根本朝子様

## 那須町社会福祉協議会会員募集

那須町の地域福祉活動の拡充にご理解とご協力をお願いいたします

- ・普通会員(個人、世帯) 年会費 500円 地区社会福祉協議会へ納付
  - ・特別会員(施設、事業所等) 年会費3,000円 那須町社会福祉協議会へ直接納付
- 問合せ・・・那須町社会福祉協議会 TEL0287-72-5133



編集 社会福祉法人 那須町社会福祉協議会  
発行 〒329-3215 那須町大字寺子乙2566-1 ゆめプラザ・那須内 電話0287-72-5133 FAX0287-72-0416  
那須町社会福祉協議会ホームページアドレス <http://www.nasu-shakyo.jp/>